

子ども教育通信



こんな千カラが身につく授業

図画工作科教育法



子ども教育学科3年
坂本佳奈(仁愛女子高校出身)

**感性を育てるために、
何が必要かを学ぶ。**

小学校では、音楽や体育は専門の先生が教えることがよくありますが、図画工作に関しては、担任の先生が担当する場合があります。国語や算数と同様に教えられるスキルを持っていることが求められます。ただ、図画工作の授業では、知識や理論の修得よりも、感性を育てる教育が重要となります。ポイントは実際に体験させること。そして、感じ取ってもらうこと。どれだけ自分で感じ取れるかが大事です。そういった感性を育てる教育に重点を置いて授業は構成されています。まず、模擬授業のレクチャーがあり、学生が二人ずつのチームで発表を実施。模擬授業終了後に、他の学生や教員からの評価があります。教える立場、教わる立場、それぞれの方向から改善点を見つめ、より良い指導法を目指します。



〈図画工作科教育法〉を担当する伊東知之教授。「図画工作は、知識の教育というよりも、感性の教育です。難しいですが、模擬授業を通して様々なことに気付いていくことで、しっかりとスキルが身につきます。授業も表現もやってみるという経験が大切です」。



「ここがスゴイ」
to後輩の皆さん

**想像力をふくらませる手伝いが、
できているか。**

子ども教育学科3年
関 琢登(丸岡高校出身)

クラスメートの模擬授業を生徒役で受けていると、自分自身の模擬授業について、改善ポイントがいくつも見つかります。「指示しっ放しになっていないか」「楽しませることができているか」「想像力をふくらませる手伝いができているか」。実際にやってみて、そして、客観的にも眺められるこの授業は非常に意味が大きいと思います。



教育実習レポート

子ども教育学科で重視している教育実習。
現場で体験して向き合うのは、リアルな子どもたちの考え方、表情、行動、
そして「本気で自分が先生になりたいか」です。

行って
きました！
小学校実習

子ども教育学科4年

和田伊路 (仁愛女子高校出身)

〈実習期間〉5月25日～6月19日

〈実習先・クラス〉鯖江市豊小学校・2年生

いかにわかりやすく伝え、 いかに興味を持たせるか。

前半の2週間は、授業の見学や担任の先生のサポートに加え、朝の会の進行や給食・掃除への参加をしながら、実際の授業の進め方や学級経営について学びました。後半の2週間に入ると、事前に立てた指導案（授業計画）をもとに、実際に授業を行いました。私は全6回の授業（道徳1時間、国語3時間、音楽2時間）を担当しました。

印象に残っているのは、国語の授業。ちょっと複雑な話をしていたら、子どもたちは集中力がなくなり、態度も悪くなってしまいました。一方、音楽の授業で2拍子を教えていた時のこと。「1」で大きく、「2」で小さく叩くことを説明するために、「1」と描かれた大きなブロックと「2」と描かれた小さなブロックを用意。スムーズに伝わっただけでなく、子どもたちは楽しんでリズムを打っていました。いかにわかりやすく伝えるか、いかに興味を持つ内容にするか。それらの重要性について学ぶ、有意義な機会となりました。



木曾利雄 准教授

「教師は授業で勝負する」を 実感する機会。

実習は、大学で身につけたスキルが、現場で本当に通じるのか確認する機会であり、また、自分が教育者に向いているのかどうかを判断する機会でもあります。各教科の教育法の授業では、指導案をつくり、学生相手に模擬授業を行って学んではいますが、実際の子どもたちは予測できない行動をする場合があります。その時にどう対処するかが現場では問われます。大事なのは、子どもの教育に対する熱意です。子どもはそれを敏感に感じ取ります。熱意ある教師の働きかけによって、子どもは学習に強い関心を持ち、積極的に取り組んでいくのです。授業とは知識の切り売りではありません。「教師は授業で勝負する」という言葉があります。実習とは、まさにそれを実感できる貴重な時間なのです。

新著紹介

教化に臨む近世学問 ～石門心学の立場～



高野秀晴 著
ベリカン社/2015年



高野秀晴 准教授

最近、研究する人がすっかり減ってしまったのですが、江戸時代の教育は案外面白いのです。人々が「学び」に対する渴望や悩み、不満等をはっきり口にし始めたことも面白さの一つです。本書ではその一端を描いてみました。

保育者のためのキャリア形成論



石川昭義 編著
建帛社/2015年



石川昭義 教授
人間生活学部長

タイトルに「キャリア」を付けた本書は、保育者を目指そうとしている読者が、幼い頃からの自分の歩みを振り返りながら、仕事をするについて考え、将来の自分を思い描くことができるようにとの思いを織り込みました。